２０１６年１月２２日
名古屋柳城短期大学附属三好丘聖マーガレット幼稚園
柴田　ともみ

クローバーたより

≪しつけは「つ」のつく歳までに≫

『しつけは「つ」のつく９歳までに』という昔からの言葉があります。数をかぞえるとき、「ひとつ」から数えて「ここのつ」までは「つ」がつきます。これは、９歳までに基本的な生活習慣のしつけを終えようということです。子どもが将来、立派な社会人として生きる基礎を身に付けるられるように、毎日少しずつ行えると良いですね。

では、具体的にどんなことをしたら良いのでしょうか？教育哲学者だった森信三氏は「しつけの三原則」というのを提唱されています。①明るく挨拶をする②呼ばれたら返事をする③履き物をそろえるの三原則です。これらの三つのしつけが身につくと「我」がとれるそうです。素直な気持ちをもてるようになり、心の受け入れ態勢が整うそうです。「三つ子の魂１００まで」と言われるほどに、今は何でもよく吸収し、日頃の習慣として身に付きます。無理に押し付ける必要はありません。まずは大人が見本となって行い、たった三つのことを自然にできるようにさえすればいいのです。今コツコツと行ったことがきっと将来役にたちますよ。毎日の些細なことですが、お子様と一緒にやってみてはいかがでしょうか？

しつけの三原則とは？

①明るく挨拶をする

「おはよう」「ありがとう」「いただきます」「ごちそうさま」「いってきます」など、明るく挨拶をしましょう。気持ちの良い挨拶をすることで、たくさんの人と心のやりとりができます。すると周りの人との輪も広がっていきます。挨拶は心の潤滑油のようなものです。誰とでも仲良く関わりを広げていきたいものですね。

おはよう！

②呼ばれたら返事をする

呼ばれたら「はい！」と返事をするように心がけると良いですね。名前を呼んでも、返事が返ってこないのは、悲しいですよね。返事の出来る子は、将来「いいえ」も言える子になると言われています。返事ができるというのは、自分の主体性をもち、相手の話をきちんと聞ける姿勢ができているということなのです。

はぁ～い！

③履き物をそろえる

家に帰ったら、きれいに靴をそろえて、家に入る。これだけのことで心の乱れや生活のみだれもそろい、生活そのものが落ち着きます。又、やる気がでたり、物事に集中して取り組んだりすることができるようになっていきます。騙されたと思って一度一ヶ月間試してみて下さい。変化を感じられるかもしれませんよ。

食べごよみ　節分の豆

節分とは、「季節を分ける」ことを意味し、江戸時代以降は、特に立春（毎年２月４日頃）の前日だけ示すようになったといわれています。炒った豆を年神様に供え、その豆を「おには外、福は内」と呼び立てながらまきます。昔から穀物や果物には、「邪気をはらう霊力」があると考えられ、豆をまくことで邪気をはらい、福を呼び込むと考えられています。まかれた豆を自分の年齢の数だけ食べ、１年の無病息災を願う風習もあります。日本の伝承行事を子どもたちにも伝え、大切にしていきたいですね。

絵本紹介

かぜひき ころわん

作／間所ひさこ　絵／黒井 健
ひさかたチャイルド

あらすじ

朝からくしゃみが止まらないころわん。お母さんや友達の心配をよそに外で遊んでいると、すっかりかぜをひいてしまいました。すると、寝込んでいるころわんの所にお医者さんがやって来て…。柔らかな雰囲気の絵で描かれた、愛情あふれるお話。

ワクワククッキング♪

アメリカ生まれの素朴な焼き菓子です。
バレンタインデーの季節にぴったり！

材料（12×14㎝の角型で作る場合）

チョコレート……35g
バター……60g
くるみ……30g
卵……1個
グラニュー糖……70g
薄力粉……30g

＜作り方＞

①耐熱のボウルにチョコレートとバターを入れ、６００Ｗの電子レンジで１分３０秒加熱して溶かす。
②くるみは１５０℃のオーブンで１０分ほど空焼きし、手で粗く砕いておく。
③①のボウルに溶きほぐした卵、グラニュー糖、ふるった薄力粉、②のクルミを順に加え、混ぜる。
④バター（分量外）を塗った角型（またはバット）に③を流しいれ、表面を平らにする。
⑤２００℃に温めたオーブンで２０分焼く。焼けたら網などに載せて冷まし、クッキー型などで抜く（食べやすい大きさに切ってもよい。）

《子育て相談》

自分の子育てにこれでいいのかな？と不安に思われた時、
こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか？
保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、
ご都合の良い日を決めさせていただきます。
TEL　０５６１－３６－８３７３　　お電話お待ちしています